スタートアップ・エコシステム形成支援の概要について

科学技術・学術政策局
産業連携・地域支援課長

井上　睦子

文部科学省

我が国におけるスタートアップ創出とアントレプレナーシップ醸成の重要性と課題

- 地球規模で起こるエネルギー・資源・食料等の制約や環境問題、さらに、国内における少子高齢化や地域経済社会の疲弊、自然災害や今般の新型コロナウイルス感染症の拡大等の**既存の枠組みや従来の延長では対応できない課題が顕在化**

- そのような中、**新たな価値創造の担い手となるスタートアップやその基盤となるアントレプレナーシップ**）を備えた**人材の重要性がますます高まっている**

- 一方で、**新型コロナウイルス感染症の拡大による投資の落ち込みによるスタートアップ創出・成長の停滞**や、**全国の大学等におけるアントレプレナーシップの醸成状況は他の先進国に比べて低い**といった課題が存在

- 今後我が国全体でスタートアップの創出・成長、および**アントレプレナーシップを備えた人材を育成**するための**土台作りをより一層進める**ことが必要不可欠

- エコシステム形成のために、**拠点都市で必要なスタートアップ創出や人材育成**について、**産学官連携により地域単位での取り組み**を支援

アントレプレナーシップ醸成の重要性と将来像

■COVID-19を契機とした社会変革とアントレプレナーシップの重要性

ジャック・アタリ

フランスの経済学者、思想家、作家、政治顧問。

・今の状況は私が**「ポジティブ経済」と呼ぶものに向かうとても良いチャンス**だと思っています。**経済を全く新しい方向に設定しなおす必要があるのです**。

出典：「緊急対談パンデミックが変える世界～海外の知性が語る展望～」（NHK）

クラウス・シュワブ

スイスの経済学者。世界経済フォーラムの創設・主宰者。

・資本主義という表現はもはや適切ではない。金融緩和でマネーがあふれ、資本の意味は薄れた。いまや**成功を導くのはイノベーションを起こす起業家精神や才能**で、むしろ『**才能主義（Talentism）**』と呼びたい。

出典：日経電子版（2020年6月3日）

ジョセフ・E・アウン

ノースイースタン大学第7代学長

米科学振興協会フェローなどを歴任

・機械の労働市場への侵入により、第三の認知的能力の**アントレプレナーシップ（起業家精神） は、デジタル化した職場で自らを差別化する手段として、ますます高い価値をもつ。**

出典：ROBOT-PROOF（AI時代の大学教育）

■アントレプレナーシップとは

自ら社会の課題を発見し、周囲のリソースや環境の制限を越えて行動を起こし新たな価値を生み出していく精神 Entrepreneurship is the pursuit of opportunity beyond resources controlled.

ハワード・スティーブンソン　出典：ハーバードビジネスレビュー

○総合科学技術・イノベーション会議（令和2年7月16日）　安倍前総理発言（抄）

✓ **起業家精神あふれる人材を、次々と生み出していく。**そのための**新たなエコシステム**を、我が国につくり上げていかなければなりません。

✓ 今般、その中核となる地域を選定しました。…**これまでにない実践的な起業家教育**を、**希望する学生全てが受けられるような環境整備**を、**大学や自治体、産業界と協力**して進めてください。

我が国におけるアントレプレナーシップ醸成の現状と課題

○各種報告書によると、諸外国に比べ我が国では**アントレプレナーシップに係る各種指標が相対的に低い**

○我が国の大学（学部・修士）におけるアントレプレナーシップ教育受講者は**３万人／３００万人**であり、**１%の学生にしか提供されていない**

世界のアントレプレナーシップに関するランキング

→G7主要国：6位　アジア諸国：6位（調査数：137か国）

Global rank	Country	Score
1	United States	86.8
2	Switzerland	82.2
3	Canada	80.4
4	Denmark	79.3
5	United Kingdom	77.5
6	Australia	73.1
7	Iceland	73.0
8	Netherlands	72.3
9	Ireland	71.3
10	Sweden	70.2
11	Finland	70.2
12	Israel	67.9
13	Hong Kong	67.9
14	France	67.1
15	Germany	66.7
16	Austria	64.9
17	Belgium	62.2
18	Taiwan	62.1
19	Chile	58.3
20	Luxembourg	58.1
21	Korea	58.1
22	Estonia	57.8
23	Slovenia	56.5
24	Norway	56.1
25	United Arab Emirates	54.2
26	Japan	53.3

出典：Global Entrepreneurship Index 2019（The Global entrepreneurship and Development Institute）

起業家的枠組みの条件に関するランキング（54か国中）

項目	日本	米国	イギリス	ドイツ	カナダ	イスラエル
在学段階でのアントレ教育	44位	13位	20位	36位	9位	27位
卒後のアントレ教育	30位	12位	26位	25位	20位	34位
商業的・法的整備	47位	10位	25位	3位	16位	15位
文化的・社会的な規範	39位	1位	19位	32位	10位	2位

出典：Global Entrepreneurship Monitor 2019/2020 Global Report

大学発ベンチャー創出に関する現状と主な課題

○近年、大学発ベンチャーの数は回復傾向であったが、リーマンショック時のように長期にわたり投資が停滞しベンチャー数が減少するか否か、将来のベンチャー創出の分水嶺となるような状況

【大学発ベンチャー数】

出典：文部科学省「産学連携等実施状況調査」

【ベンチャー投資金額と投資件数】

出典：ベンチャー白書2020（2020年12月7日）※2020年度データは速報値（2021年6月1日）

➢ 日本の大学の主な課題

アントレプレナーシップ醸成

- 実践的な教育を実施できる指導者の不足
- 大学・自治体・民間が協働するエコシステムを作るための仕掛けや体制整備が必要
- マインド醸成の裾野を広げる取組、起業を見据えた実践的な取組が必要

大学発ベンチャーの創出支援体制

- 4大学（東京、京都、東北、大阪）以外の大学は起業・事業化に向けた研究開発資金（いわゆる「GAPファンド」）等体制が不十分
- 4大学以外の大学は不十分だが、１大学ですべての支援体制要素を整えることには限界

大学発ベンチャーに関する課題

○**大学発ベンチャー創出の支援体制が整っている大学は限定的**
○ ベンチャー投資額は欧米に比べ圧倒的に小さい

【大学発ベンチャー創出支援体制】

令和元年度大学等における産学連携等実施状況調査回答の**776大学中**

起業・事業化に向けた研究開発資金※	起業前後のビジネス化加速支援
21大学 ／776大学	**15大学** ／776大学
起業・事業化に向けた個別相談制度	**起業前後の入居・研究開発施設**
21大学 ／776大学	**86大学** うち、19大学では満室 ／776大学

【国・地域別ベンチャー投資金額】

資料：ベンチャー白書2020（一般 財団法人ベンチャープライズセンター）を基に文部科学省にて作成

※いわゆる「GAPファンド」：大学が、自律的かつ機動的に、比較的少額の開発資金（試作開発・試作テスト資金など）を研究室に供与して大学の基礎研究と事業化の間に存在するGAP（空白・切れ目）を埋めることにより、大学先端技術の技術移転や大学発ベンチャー創出を促していく基金

都市としてのスタートアップ・エコシステム構築の重要性

世界的にみたエコシステム拠点形成

- 海外では拠点都市を起点にエコシステムを形成することが主流。
- シリコンバレー、ニューヨーク、北京、上海などでは都市拠点形成が進展し、高企業価値の未上場のスタートアップ企業（＝ユニコーン）を創出。
- **米国のユニコーンの８０％、中国の８３％は拠点都市型スタートアップ・エコシステム**から創出されており、世界各地で同様の状況。

世界のスタートアップ・エコシステム都市ランキング 2020（調査会社Startup Genomeが発表）

	ランキング	パフォーマンス	資金	接続性	市場リーチ	研究・特許	人材
シリコンバレー	1位	10点	10点	7点	10点	10点	10点
ロンドン	2位	9点	10点	10点	10点	7点	10点
北京	4位	10点	9点	1点	10点	10点	10点
ボストン	5位	9点	9点	9点	9点	5点	9点
テルアビブ	6位	9点	9点	9点	10点	4点	9点
パリ	13位	4点	9点	9点	1点	1点	8点
東京	15位	7点	8点	1点	3点	9点	7点
シンガポール	17位	4点	8点	7点	8点	1点	4点
シドニー	27位	3点	3点	8点	1点	1点	5点

東京は特にネットワーク機能のスコアが低い

ヒト・モノ・カネ・情報が集積するような都市としてのエコシステムの形成が重要

スタートアップ・エコシステム形成に向けた基本方針

第50回総合科学技術・イノベーション会議（令和2年7月16日）資料2-1抜粋

- コロナウイルス感染の拡大に伴い、スタートアップ向けのリスクマネー供給の減少、事業展開や研究開発の停滞等、**自律的なエコシステム形成に向けたリスクが顕在化。現在、大きな分岐点に。**
- **スタートアップは、その機動性で、今後の社会変革に対応するイノベーションを牽引するキープレイヤー。**
- **スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略**（2019.6）に基づき、**エコシステムの中核となる拠点都市を選定。**
- **今後３年間を集中支援期間に** → **スタートアップ・エコシステム支援パッケージ**

スタートアップ・エコシステム支援パッケージ

世界に伍するスタートアップを支える支援体制の構築

○ **政府系スタートアップ支援機関の支援プラットフォーム　（事業規模約1,200億円）** ※拠点都市と連携：集中支援を実施

○ 官民ファンドによるリスクマネー供給の強化　等

スタートアップの「創出」

○ **アントレプレナーシップ*教育の推進**

- 希望する学生すべてが受講できる環境を拠点都市の関連大学で整備
- 拠点都市の産学官による、起業に向けたより実践的な講座の開設（在学中の起業体験、ベンチャーへのインターン等）

○ 創業期のギャップファンド強化　等

スタートアップの「育成」

○ **SBIR制度改革による成長支援**

各省庁が連携し、研究開発の初期段階からの連続的支援と公共調達を促進

○ 不公平となるような大企業との契約を是正（ガイドライン策定）　等

世界との「繋ぎ」

○ J-Startup**地域版の立ち上げ

地域スタートアップの世界へのブランド化

○ JETRO等による海外発信　等

* 起業家精神（起業に限らず、新事業創出や社会課題解決に向け、新たな価値創造に取り組む姿勢や発想・能力等）

** 官民連携によるスタートアップ育成支援プログラム

スタートアップ・エコシステム拠点都市の目指す姿

✓ スタートアップ・エコシステム拠点都市の**大学・自治体・産業界のリソースを結集**し、**世界に伍するスタートアップの創出に取り組むエコシステムを構築する。**

✓ **基盤となる人材育成**に力を入れ、我が国全体の**アントレプレナーシップ醸成を抜本的に強化**する。

目指す姿	**【世界に伍するスタートアップ・エコシステムの構築】 不確実性の高い世界において、急激な変化に対応し、社会に新たな価値を生み出す人材やスタートアップが次々と生まれる状態。**
施策	**・イノベーション創出の基盤となるアントレプレナーシップを有した人材の育成 ・スタートアップ創出のための支援体制の構築 を、産学官のリソースを結集して推進**

大学を中心としたスタートアップ・エコシステム拠点都市への支援

➢ **スタートアップ・エコシステム拠点都市**において、**自治体・産業界と連携**し、大学等における実践的な**アントレプレナーシップ教育**や起業・事業化に向けた研究開発資金（いわゆる「**GAPファンド**」）、ネットワーク強化等の**総合的な環境整備**を支援

R2補正予算：９プラットフォーム
×約2億円
R3～R7：４プラットフォーム
×約１億円　※本公募

スタートアップ・エコシステム拠点都市（内閣府）
拠点都市環境整備型採択プラットフォーム（JST）

【グローバル拠点都市】
- **○東京圏：スタートアップ・エコシステム東京コンソーシアム**
- **○東海圏：Central Japan Startup Ecosystem Consortium**
- **○関西圏：大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム**
- **○福岡：福岡スタートアップ・コンソーシアム**

【推進拠点都市】
- ○札幌・北海道スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ○仙台スタートアップ・エコシステム推進協議会
- ○広島地域イノベーション戦略推進会議
- ○北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム

令和3年度当初予算による支援（スタートアップ・エコシステム形成支援）

- ✓ スタートアップ・エコシステム拠点都市に参画している大学を中心に、**実践的なアントレプレナーシップ教育の開発・運営**や、**ギャップファンド・起業支援体制の構築等**を実施
- ✓ コロナ後の社会を牽引する**アントレプレナーシップ人材の育成**や、大学等の知を活用した世界に伍する**スタートアップの創出を推進**

＜公募スケジュール（現時点見込）＞

公募：令和３年７月8日～8月18日

審査：令和３年９月上旬頃

実施：令和３年１１月上旬頃～令和８年３月（５年間）

※科学技術振興機構（JST）の大学発新産業創出プログラム（START）の中で公募予定

＜支援内容の概要＞　1.1億円×4拠点程度

(1) 起業活動支援プログラムの運営

⇒広域でのシーズ発掘、ギャップファンドプログラム運用、ハンズオン支援等の仕組みの検討・実施等

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営

⇒自治体・産業界等と連携し、拠点都市内で希望する学生等が受講できるプログラムの開発・実施等

(3) 起業環境の整備

⇒関係諸ルールの整備・見直しや、設備機器を活用した起業支援に資するプログラム等の実施等

(4) 拠点都市におけるエコシステムの形成・発展

⇒産学官金におけるネットワーク形成やイベントの開催、海外とのエコシステムとの連携等

スタートアップ・エコシステム形成支援の位置づけ

- ✓ 本公募プログラムでは、拠点都市全体として目指す姿の実現に向けて、**本公募プログラムをどのように活用していくかと**いう観点を踏まえて申請いただきたい。
- ✓ また、申請にあたり、**本公募プログラムの支援額で実施する部分と、それ以外の外部資金等を活用しながら実施する部分を組合せながら、全体としてどう持続的なエコシステムを形成していくか**という観点が重要。

スタートアップ・エコシステム拠点都市として目指す姿

本公募プログラムを通して実現したい絵姿

＜スタートアップの創出＞

1．起業活動支援プログラムの運営
2．アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等
3．起業環境の整備
4．エコシステムの形成・発展

＜スタートアップの育成＞

＜世界との繋ぎ＞

スタートアップ・エコシステム形成支援
例）
1.について、○○に活用
2.について、△△に活用
等

SCORE
（拠点都市環境整備型）
例）
1.について、○○に活用
2.について、△△に活用
等

官民イノベーションプログラム
EDGE-NEXT
SCORE大学推進型等
で得られた成果

外部資金等

＜重要ポイント＞

本公募プログラムを活用して大学を中心にどのような絵姿を目指すのか。

その実現のために支援額を何に活用するのか。